【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第３区分
【発行日】平成27年1月22日(2015.1.22)

【公開番号】特開2013-121629(P2013-121629A)
【公開日】平成25年6月20日(2013.6.20)
【年通号数】公開・登録公報2013-032
【出願番号】特願2011-270549(P2011-270549)
【国際特許分類】
Ｂ２５Ｂ　23/10　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ２５Ｂ　23/10　　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成26年11月28日(2014.11.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ねじの頭部に形成された駆動穴に係合可能な係合部に、弾性部材を装着して成ることを特徴とするドライバビット。
【請求項２】
前記弾性部材をコイルばねにしたことを特徴とする請求項１に記載のドライバビット。
【請求項３】
前記係合部の先端が前記弾性部材から突出し、その突出する長さは前記ねじの駆動穴の深さよりも小さく設定されていることを特徴とする請求項１または請求項２に記載のドライバビット。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本発明は、上記課題に鑑みて創成されたものであり、ねじの傾きを規制して斜め締め付けによる締結不良を低減するドライバビットの提供を目的とする。この目的を達成するために、本発明のドライバビットは、ねじの頭部に形成された駆動穴に係合可能な係合部に、弾性部材を装着して成ることを特徴とする。また、前記弾性部材をコイルばねにすることが好ましい。また、前記係合部の先端が前記弾性部材から突出し、その突出する長さは前記ねじの駆動穴の深さよりも小さく設定されていることが好ましい。